



大谷中だより

自ら学ぶ 認め合う 大きな夢をもつ

夢を実現していく
生き生きとした学校



令和8年6月 3号

〒337-0014 さいたま市見沼区大谷1634-2

TEL 048-685-6982

さわやか相談室(直通) 048-685-8272

ホームページ <https://oya-j.saitama-city.ed.jp>

己の欲せざる所、人に施す勿かれ

校長 加藤 良夫

早いもので、2ヵ月ほどが過ぎました。気温も上がり、日差しが日々強くなっているのを感じます。この間、北陸への修学旅行、通信陸上大会、確認テストが終わり、学校総合体育大会が始まります。運動部の3年生としては、最後の大きな大会となります。それぞれが悔いの無いように過ごしてほしいと思います。

さて、6月は、「いじめ撲滅強化月間」です。講話において、次のようなことを話しました。「いじめは良くない」ということは誰もが分かっているけれども、辛い思いをしている人がいることを知ること。孔子の言葉を引用して、「己の欲せざる所、人に施す勿かれ」とは、自分が嫌なことは、他の人にもしないこと。自分の言動に責任をもち、自ら考えて行動できるようにしていくことが大切である。また、多様性についても触れ、価値観や文化など、さまざまな違いを持ちながら共に存在していくこと、その違いを尊重し活かそうとする考え方を示し、自分と違う考えの人がいる、その人たちの考えを受け入れること。そして、色々な考え方があること、相手を変えることの難しさ、変わることが出来るのは自分であるということ。最後に、大切なことは、このように学んだことを日常生活に生かしていくこと、自分の言動に責任をもち、自ら考えて行動できるようにすること、生命や人権を尊重し、お互いを思いやるような優しい心を持ってほしいこと、これらが「いじめ撲滅」の一歩になるとともに、自分を大切することにつながると話しました。

本校では、毎年、1年生を対象にして「心の境界線」について、外部から講師を招いて講演を行っております。現在、在籍している全員が、1年生の時に、境界線を意識してお互いを大切にすることを学んでおります。また、毎年、新入生保護者説明会においても、講演を実施しております。学校、保護者、生徒がそれぞれの立場から境界線について、学び実践することで、お子様の成長をより一層支援していくことができるのではないかと思います。

最後に、6月2日は本校の開校記念日です。昭和57年4月1日、大宮市立七里中学校より、分離し、大宮市立大谷中学校として開校しました。今年で45年目を迎える歴史と伝統のある学校です。応接室には、「校章の由来」が額に入り、以下のように掲示してあります。

校章の由来

「まわりは、大宮、大谷の 「大」

葉はつげ（大宮の市樹）二重丸と中で谷中（この形は七里中と兄弟校の意）

白は純粹、純潔な心を 緑は豊かな自然と学問を

青は美しい空、健康な身体、果しない未来を意味します



本校の歴史を知ること、どのような思いで開校し、生徒の皆さんにどのように成長してほしいのかが分かります。その思いは、生徒の皆さんへの期待となっています。地域とともにある大谷中学校として、ぜひ、その期待を胸に精一杯取り組んでほしいと思います。